



テーマ | 芸術の秋

Pick UP!

美術の世界の奥深さが味わえる一冊
『天才たちの値段』門井慶喜/著(文藝春秋)
ISBN:978-4-16-778201-6



短期大学で美術講師を務める佐々木昭友のもとに、イタリア・ルネサンス期の巨匠ボッティチェッリの幻の初期作『秋』が国内で発見されたという情報が舞い込む。半信半疑のまま鑑定の場に赴いた彼は天才美術探偵・神永美有と出会い…。知的好奇心を刺激する秀作。



『女神のタクト』塩田武士/著(講談社)
ISBN:978-4-06-217322-3



仕事と恋人を同時に失った矢吹明菜は、傷心旅行に出かけた神戸の海辺で謎の老人と出会い、「ある男を神戸まで連れてきてほしい」と頼まれる。訪ねた先には、訳ありの引きこもり指揮者がいた…。明菜は個性豊かな地方オーケストラと気弱な指揮者を引き合わせて楽団の立て直しに奔走する。



『肖像彫刻家』篠田節子/著(新潮社)
ISBN:978-4-10-313365-0



芸術家として大成せず妻子に逃げられ、バツイチとなった高山正道。ローマン肖像彫刻をめざして、技術を8年かけて習得。しかし帰国しても芸術家としての状況は変わらず、50歳を過ぎて注文通りに像を作る「銅像職人(肖像彫刻家)」として生きることに…。非常にリアルで泥臭い人間模様が描かれているが、どこか切なく、深く考えさせられる名作。



QRコードを読み込むと、品川図書館のホームページから本の詳細を確認することができます。

→裏面もチェック!

『ヴェネツィアの恋人 Lover of Venice』高野史緒/著
(河出書房新社)
ISBN:978-4-309-02156-0



芸術のためにすべてを捧げる代償と欲望を描いた幻想的な短編集。主人公は自らの芸術的才能や至高の成功、または愛のために、占い師とある「契約」を交わす。願いは叶えられるが、その代償として「人生のすべて」を芸術に吸い尽くされる。怪しくも美しいダークファンタジー。



『彼女の色に届くまで』似鳥鶏/著(KADOKAWA)
ISBN:978-4-04-105213-6



画家を目指す少年の挫折や葛藤と天才少女の秘密が交差する「青春アートミステリー」小説。有名絵画をヒントにして美術にまつわる数々の事件の真相を解き明かしていく。仕掛けられた最大の真相とは…？



注目の新刊

8/1～8/31 の間に新しく受け入れた本の中からおすすめを紹介！

タイトル	著者 出版社	ISBN
お隣さんの置き配がヤバすぎる	有手窓/著 河出書房新社	978-4-309-03254-2
夜がまだ明けない It is still night	井上先斗/著 小学館	978-4-09-386785-6
名探偵のいけにえ 人民教会殺人事件	白井智之/著 新潮社	978-4-10-104482-8
檸檬と蜜柑のラブソディ	ふるたみゆき/著 幻冬舎	978-4-344-43584-1
湯けむり文学 5 分後にお風呂に入りたくなる！	荒木あかね/ほか著 講談社	978-4-06-543417-8